



平成29年度 公開講座実施模様



研修部

1. はじめに

情報通信エンジニアリング協会では、一般の方を対象に情報通信エンジニアリング事業について、理解をより深めていただくことを目的に無料講座を開催しています。

平成29年度は、総務省主催の平成29年度「情報通信月間（5月15日～6月15日）」に合わせて東日本研修センターと西日本研修センターで開催しました。

以下、その概要を紹介します。

2. 東日本研修センターでの開催

- (1) 講座名 「ブロードバンドサービスを支える情報通信設備の紹介」
- (2) 実施日 平成29年5月26日(金)
- (3) 参加者数 12名
- (4) 内容

i. 情報通信設備の概要説明

情報通信業界およびブロードバンドサービスの変遷について、プレゼン

資料、ビデオ等を利用して説明を行い、さらに実習室の研修用設備を利用して概要説明を実施しました(写真1)。

ii. 光ファイバ接続体験

ブロードバンドサービスの1つであるフレッツテレビ概要をプレゼン資料で説明し、フレッツテレビの設備構築に使用する光ファイバの接続体験を実施しました(写真2)。

iii. 研修実習現場見学とその研修設備(器具等)の体験

研修現場(危険体感安全研修科)を見学していただきました。見学した研修において、取り組んでいる安全について説明するとともに、研修設備等を体験していただきました(写真3～5)。体験内容は、以下のとおりです。

- ・マンホール内入孔前の酸素欠乏測定および入孔体験
- ・高所作業車の搭乗体験

3. 西日本研修センターの開催

- (1) 講座名 「情報通信設備の有効かつ効率的運用による情報伝達技術に向けて」
サブテーマ「安全・安心・信頼」
- (2) 実施日 平成29年6月8日(木)



写真1 情報通信設備の概要



写真2 フレッツテレビ概要説明と光ファイバ接続体験



写真3 マンホール入孔前の酸素濃度測定



写真4 安全研修にかかわる説明



写真5 高所作業車の搭乗体験

(3) 参加者数 9名 (大学、専門学校・情報通信メーカ・近隣住民等)

(4) 内容

i. 電気通信設備の概要説明

情報通信業界および電気通信・情報通信市場の変遷並びに電話・インターネットの仕組みまた、光ケーブルの概要まで、プレゼン資料により説明を実施しました (写真6)。

ii. 通信設備の体感・見学

当研修センタ内での模擬設備を用いた、局内から地下・架空設備までの通信設備の構築状況等をプレゼン資料と解説により、安全確保また品質確保状況の説明を実施しました (写真7)。

・局内の交換設備の設置状況等をプレゼン資料と模擬設備で説明。

・地下配線 (地中化) 設備の設置状況と地下配線でのメリット等を説明。

・架空構造物と通信ケーブルの設置とそれにかかわる各種荷重と耐力などを説明。

・光ファイバ接続である融着接続とメカニカルスプライス接続の体験と実回線を用いた曲り損失によるフレッツTV映像等消滅模様を体験。

4. 参加者の主な感想

(1) 東日本研修センタでの講座

・情報通信業界および技術の変遷等の説明からビデオによる説明、体験と展開しわかりやすい講座であった。

・フレッツテレビの説明を受けて、新築の建物にテレビアンテナがな

い理由がわかった。

・建物内に、アクセス系研修設備があり天候不順でも、研修が可能な事に感心した (実習棟の中に、マンホールの研修設備等があった事に驚いた)。

・高所作業車への搭乗時の安全带装着等、各種安全に対する取組みを実施している事を知った。

(2) 西日本研修センタでの講座

・学校の授業では得られない貴重な体験ができた。

・夏のインターンシップにもぜひ参加したい。

・大変勉強になった、今後とも継続的に公開講座の開催をお願いしたい。

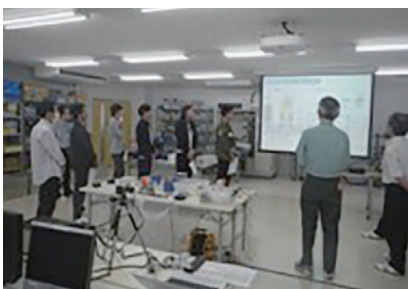
・情報通信エンジニアリング協会や西日本研修センタのことがよくわかった。

5. おわりに

参加者に、座学・見学・体験を通じて、情報通信設備について、理解をいただくとともに安全に対する情報通信エンジニアリング協会の取組みについてPRができました。



写真6 電気通信設備の概要 (座学)



体感・実習概要説明



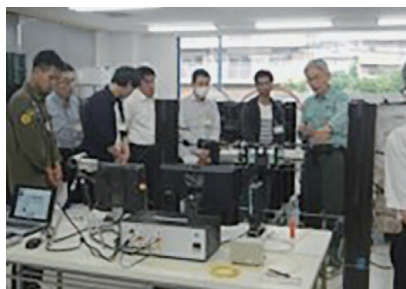
局内設備説明



地下配線設備説明



架空構造物等説明



光ケーブル損失体験



光心線接続体験

写真7 通信設備の体感・見学模様 (座学)